

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	Dual energy CTによる膵実質および胆嚢内胆汁の脂肪定量化：MRIとの比較検討		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後 から 2020年3月31日		
③ 対象患者	④の対象期間中に当院で腹部MRI検査を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2017年10月1日 から2018年2月28日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	放射線科、第一内科、第三内科、第一外科、第二外科		
⑦ 研究責任者	氏名	伊東克能	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	腹部CT・MRI画像、性別、年齢、既往歴・腹部症状の有無、膵外分泌機能検査結果（アミラーゼ、リパーゼ）、膵内分泌機能検査結果（HbA1c値、空腹時血糖値、ブドウ糖負荷試験）、肝機能検査結果（総蛋白、アルブミン、AST、ALT、LDH、ALP、 $\gamma$ -GTP、ビリルビン、血小板、プロトロンビン時間）		
⑨ 研究の概要	膵脂肪変性と膵内分泌機能障害との関連性が報告されており、脂肪変性の程度を定量化することは重要ですが、これまでのCTでは少量から中等量の脂肪成分を特異的に診断することは困難でした。しかし、異なる電圧の2管球を用いたDual energy CTでは、これらのCT値の違いを利用して30%未満の肝脂肪量を評価できることが報告されており、膵胆嚢内の脂肪量の評価にも有用と思われます。一方、胆嚢では、胆汁中のコレステロールは胆汁酸と複合体を形成していますが、胆嚢で胆汁が濃縮される際に遊離し、コレステロール結晶が成長することでコレステロール結石の原因となる場合もあることから、胆嚢内の脂肪成分を定量することは临床上、有用であると思われます。本研究の目的は、Dual energy CT画像とMRIにおける脂肪定量画像を用いて、膵臓および胆嚢内胆汁の脂肪含有率を測定して比較することです。		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2018年3月30日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		

⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：伊東克能			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285